

# 平成20年度長薬同窓会総会・懇親会

平成20年度長薬同窓会定期総会は、長崎支部ぐびろ会（山中國暉会長）のお世話で、平成20年6月7日(土)にベストウェスタンプレミアホテル長崎で開催されました。100名の同窓会会員の皆様に

お集まりいただき、無事終了いたしました。総会・懇親会の模様を一部ご紹介いたします。内容につきましては、庶務報告を御覧ください。



参加者を待つ総会会場



校歌を斉唱する田崎氏と役員



会長の挨拶



議長の宮本眞秀氏（昭和41年卒）



総会の様子



関東支部の谷覺支部長（昭和42年卒）



母校の近況を紹介する和田光弘准教授（平成4年卒）



畑山範学部長



胡弓（二胡）の演奏



胡弓の演奏に拍手

## 平成21年度長薬同窓会 総会開催のご案内

期日 平成21年6月20日(土)

場所 アルカディア市ヶ谷

東京都千代田区九段北4-2-25 TEL: 03-3261-9921

万障お繰り合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

# 支 部 だ よ り

## 関 東 支 部

支部長 谷 覺 (昭42)

関東支部は毎年、6月に総会がもたれています。本年度は6月21日(土)に日本出版クラブ会館で40数名の参加者を得て開催されました。

支部総会に先立ち、第6回卒後セミナーが開催されました。「薬学6年制教育を受けた薬剤師は、どのように変わるのか？」をテーマにあげ、基調講演に「ファルマコンセルジュへの道」と題してレイヘイゼマー・コンサルティング代表取締役の中川礼一先生による講演があり、続いて、大学教育の立場から「6年制の薬学教育カリキュラム」尾山 廣先生(昭60, 日本薬科大学), 病院薬剤部の立場から「6年制薬剤師に期待されること」渡辺クリコ先生(昭48, 都保険医療公社大久保病院薬剤科), 保険薬局の立場から「今、現場で求められている服薬支援のためのコミュニケーション」吉岡優子先生(昭56, ネオフィスト研究所)から、それぞれ講演がありました。これから薬剤師の現場では仕事量も格段に増え、責任も重くなり、また生き残っていくには様々な技能・態度に今まで以上に磨きをかけていかなければならなくなるな

ど、薬剤師を取り巻く環境が劇的に変わるであろうことが、ひしひしと伝わってきました。

卒後教育の後に支部総会が行われましたが、冒頭に長崎大学学長の齋藤 寛先生より「長崎大学のいま」をご紹介頂きました。長崎大学が旧帝大に伍して活躍している様子を伺い誇らしく思った次第です。この度はノーベル化学賞の下村 脩先生(昭26)に名誉博士第1号を贈るという事ですが、いち早く名誉校友にした先見性も見事です。また、岸川直哉先生(平10)から「薬学部のいま」をご紹介頂き、懐かしさでいっぱいでした。総会の後は懇親会となり、旧交を暖めることができました。

本年度は例年行っていた「ビール工場見学」や「アロマとハーブの会」を参加者の減少によりやむなく中止としました。しかし、これらの会は根強い人気があり、これから先、どのような集いを開催するのか、若い会員の意見も聞いて決めていきたいと思っています。関東支部の課題は、いかに若い会員のニーズに伝えていくかということです。同窓生は薬業界という狭い社会にいますので、様々な情報は刺激になったり、参考になったりするのではないかと考えています。同窓生がどこで、どのような活躍をしているかを知ること、自分のネットワークの構築に大いに役に立つはずで



平成20年6月21日 於 日本出版クラブ会館

どんどん同窓会の輪の中に飛び込んできていただきたいと思います。

さて、来年度は関東支部が当番となり長薬同窓会総会が開かれます。6月20日(土)に市ヶ谷の私学会館で開く予定になっていますので、今から予定に入れていただければ幸いです。各年度のクラス会やサークルの同窓会などを企画していただいたり、また近くの東京大学の植物園や少し遠いですが

小平市には薬用植物園もありますので、ついで見学することもできるかもしれません。東京には伝統的な歌舞伎から、大人でも楽しめる東京ディズニーシーまでありますので、この機会にゆっくり東京見物するのも一興かもしれません。楽しい総会に致しますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

## 近畿支部

支部長 白石 哲也 (昭32)

平成20年度の特別講演、総会及び懇親会は6月22日(日)大阪弥生会館に29名が集い盛況の内に無事終了しました。特別講演は14時30分に始まり、懇親会終了は18時45分でした。

特別講演は徳山尚吾先生(院63, 神戸学院大学薬学部教授)による“サプリメントの功罪一たか



特別講演会の情景



特別講演講師 徳山尚吾先生

がサプリ、されどサプリー”でした。内容は理解しやすく、質疑応答が活発で予定時間を30分も超過しておりました。

総会に先立ち伊豫屋偉夫同窓会長にご挨拶を頂きました。総会は平成19年度報告及び平成20年度計画(5議案)が原案通り承認されました。

今年度は支部長、副支部長・監事、幹事長の改選時期でしたが、全員再選されました。支部長：白石哲也(昭32)、副支部長・監事：浅井 武(昭36)、広本淳子(昭44)、幹事長：梶野 繁(昭42)です。また、幹事には新しく坂本 繁さん(昭62)と濱邊和歌子さん(平11)が加わりました。

今年度も支部会報13号を発行します。経費節減のため、従来の“B5判綴込み”から“A4判(A3判の折込み)”とします。

懇親会のはじめに岸川直哉庶務幹事(平10)による“薬学部は今”のスライド紹介があり、懐かしく楽しく見ることができました。

懇親会は石津一貫先輩(昭16.3)の乾杯の音頭で始まりまして。今年の司会は浅井 武さん、吉森由香さん(昭59)のコンビで行いました。各テーブルは歓談の声で盛り上がり、短い時間でしたが楽しいひとときを過ごすことができました。



平成20年6月22日 於 大阪弥生会館

最後は林田 久さん（昭62）の一本締めで終わりました。

来年は近畿支部創立90周年を迎えます。平成6年には近畿支部会報1号が“創立75周年記念誌”

として発行されました。来年は、この節目の年に支部会員が集える特別講演・総会・懇親会にしたいと思います。また日程は従来からの6月から、好天に恵まれる10月中旬に変更します。



石津一貫先生乾杯の音頭



伊豫屋会長



岸川先生の薬学部紹介

## 広島支部

副支部長 青野 拓郎（昭52）

長薬広島支部同窓会を、平成20年10月26日(日)にホテルニューヒロデンにて開催しました。今年は、暑い夏を避け、お昼の時間という従来と違うスタイルで開催しました。

支部長の品川先生（昭44）の開会の辞で始まり、工藤先生（昭32）の乾杯の挨拶の後、会食懇談となりました。各テーブルそれぞれ楽しく話が盛り上がっておりました。

来賓として長崎より出席して頂いた富永義則長薬同窓会副会長（昭44）より挨拶があり、その後パワーポイントを使って、長崎医学専門学校薬学科のころから、最近の薬学部や、長崎大学の様子等を見せて頂きました。また、出席した全員が興味を持っていたノーベル化学賞を受賞された下村脩先生についてもお話をさせて頂きました。さらに薬用植物園の現状についての話もありました。最後に有機発光の実験を見せて頂き、それぞれ緑色、赤色、黄色の発光体が各テーブルを周り出席した

全員が感激しておりました。

次に参加者からの近況報告がありました。出席された方々の多くが、病院や薬局及び介護等の現場でいろいろ頑張っておられるとのことでした。高齢化社会、医療制度改革、薬学6年制等、我々薬剤師を取り巻く環境は厳しくなっていく一方ですが、参加された方々の話を聞いていると頑張っていけると思いました。

校歌斉唱のあと、写真撮影があり、最後に大石先生（昭35）に挨拶いただき、来年の再会を約して解散となりました。

〈参加者氏名〉

長薬同窓会副会長 富永 義則先生（昭44）	
工藤 重子（昭32）	大石 輝雄（昭35）
橋口 信彦（昭36）	左利 龍彦（昭38）
村上 郁子（昭43）	品川龍太郎（昭44）
森崎 孝幸（昭45）	大滝 修子（昭45）
曾根 正勝（昭46）	古屋 敏子（昭47）
守屋 秀子（昭47）	松井 由子（昭48）
青野 拓郎（昭52）	後河内厚行（昭53）
小野 美子（昭55）	九十九賢一（院昭58）
岸川 映子（昭60）	手島 賢二（平8）



平成20年10月26日 於 ホテルニューヒロデン

## 山口支部

世話人 廣野 善昭 (昭54)

平成20年10月26日(日)に山口グランドホテル(新山口駅新幹線口)において、2年ぶりの長葉山口抜天会(長葉同窓会山口支部)が開催されました。

当日は、長崎より長葉同窓会幹事の梶島 力薬学部准教授(平4)の参加を得て、また、島根県や広島県からの参加もあり、40名の出席で盛會に同窓会が開催されました。

まず、岡 幸夫氏(昭59)の進行のもと、若松輝明会長(昭45)の御挨拶の後、長葉山口抜天会会則を全会一致で承認し制定すると共に、会長と役員を中心に同窓生相互の協力をより強くする旨を申し合わせました。

次に、梶島 力幹事より、長崎大学や薬学部の近況、下村 脩先輩(昭26)のノーベル化学賞等のお話をパワーポイントにより紹介していただき、皆たいへん懐かしく興味深く聴かせていただきました。

さて、梶島 力幹事のお話の後には、懇親会です。黒瀬 恵さん(平11)の司会のもと、樋口幸男氏(昭32)の乾杯により開宴しました。

歓談の途中、1人1人にマイクを渡して近況を話していただきました。最近山口県に来られた方や、初めて同窓会に出席された方、漫画家の御子息をお持ちの方や、学生時代にノーベル化学賞を受賞された下村 脩先輩と一緒にの教室だった方、わいわいがやがや、あっという間に2時間が過ぎました。

「今回の同窓会は、近県の方も出席していただき、平成卒の若い同窓生7名の参加もあり、これまでにない盛り上がりでした。これも、若松会長や世話人の尽力によるものです。」と河野信助前長葉山口抜天会会長(昭17)や西村善行先輩(昭22)から労いの言葉をいただきました。次回の同窓会には、山口県内の145名の同窓生に皆で声を掛けて1人でも多く出席してもらい長葉山口抜天会を盛り上げようと、会長を初め世話人一同気持を新たにいたしました。

最後の締めは三浦花子さん(平18)の「今後とも同窓会を盛り上げよう。」との挨拶の後、島根県から御夫婦で参加された板倉忠則氏(昭49)の御発声により盛會に終えることができました。

同窓会は、何時出席しても、楽しく、和やかで、温かいなと思います。先輩方や後輩の方々から明日の元気を頂いた一時でした。

〈出席者〉

梶島 力 (平4)  
河野 信助 (昭17)  
河田 和子 (昭32)  
井上 万里 (昭34)  
大塚 保雄 (昭35)  
若松 輝明 (昭45)  
桐木 英雄 (昭48)  
桐木 由紀 (昭48)  
板倉 忠則 (昭49)  
天田 登 (院昭52)

西村 善行 (昭22)  
樋口 幸男 (昭32)  
小川 満子 (昭35)  
神代 良彦 (昭42)  
若松久美子 (昭46)  
金子 伸夫 (昭48)  
大平 健一 (昭49)  
田中由美子 (昭52)  
板倉 明美 (昭53)

末田 淳子 (昭53)  
高橋 久美 (昭54)  
江本 佳子 (昭56)  
瀬戸久美子 (昭56)  
中倉 政司 (昭57)  
岡 幸夫 (昭59)  
椎木 康之 (昭63)  
中川 明人 (平1)  
吉永 奈緒 (平8)  
鈴木 光子 (平11)

廣野 善昭 (昭54)  
伊藤 弘範 (昭55)  
有馬 睦子 (昭56)  
小田由美子 (昭56)  
牧野 泰孝 (昭58)  
野村 由子 (昭60)  
梅野 尚生 (平1)  
椎木ひとみ (平2)  
黒瀬 恵 (平11)  
三浦 花子 (平18)



平成20年10月26日 於 山ログランドホテル

四国支部

支部長 井上 智喜 (昭54)

まず、何よりも下村 脩先生、ノーベル化学賞受賞おめでとうございます。偉大な先生に失礼かと存じますが、長薬同窓生の一人として、この度の栄えある御受賞、大変誇りに思いますと同時に、先輩や長薬の名を汚さぬよう身の引き締まる思いをいたしてしております。

さて、長薬四国支部同窓会を、夏真っ盛りの7月26日(土)に徳島市にて開催いたしました。本部から遠路、臨床薬学講座病院薬学分野教授の中嶋幹郎教授 (昭57) にご参加いただき、小西良士先生

(帝国製薬：香川)、福井(土田)紀久子氏(昭52：徳島)、南里真人氏(昭60：徳島)、井上智喜(昭54：愛媛)の5名で楽しく、懐かしく、2時間という時を過ごすことができました。中嶋教授から長崎大学薬学部の現況を伺いながら、若かりし日々(今でも若いつもり)を振り返り、普段なかなか長崎に足を運ぶ機会がありませんが、長崎人になりきり、先輩後輩の有難さを実感する一日となりました。小西良士先生におかれましては、企業でご多忙な日々を送られながら、お若く、お元気でいらっしゃいます。福井紀久子先輩は、病院勤務ということもあり医療の話に花が咲き、南里真人さんは、研究職に身を投じておられ、将来とても有望という感を持ちました。井上におきましては、相変わらず気が利かず、写真を撮り忘れ皆

様の様子をご報告叶いませんこと、お許しください。

さらに、今回は同窓会出欠の葉書より四国支部の方々の近況をお伝えしたいと思います。山下(藤村) みよ子氏(昭46)、吉柳公雄氏(昭61) 葛城文子氏(平6)；皆様によろしくとのお言葉頂いております。西岡(穴吹) 千鶴氏(昭49) 二宮義和氏(昭52)、森(清水) 由紀子氏(昭62)、池田幸代氏(平6)、川田 敬氏(平15)；学会・院内行事・お仕事など忙しくされています。久保(椎葉) 恵子氏(昭57)；福岡市に転居されております。三柳(虫

本) 直子氏(平8)；仕事と育児を頑張っておられます。このほかにも四国支部には約90名の会員がいらっしやいますが、多くの方から本会への温かい励ましのお言葉を頂いております。一方でとても残念なご報告もございました。この場をお借りして心よりお見舞い、お悔やみ申し上げます。

最後に、来年は高知市での長薬四国支部同窓会を予定しております。多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。また、医療薬学会が来秋に長崎市で開催されます。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

## 北九州支部

支部長 末宗 成二(昭28)

平成20年度長薬同窓会北九州支部総会及び懇親会開催

日時 平成20年10月18日 午後6時

場所 小倉ステーションホテル 4階

式次第 (進行 増田幹事(昭50))

1. 開会の辞 小島副支部長(昭30)
2. 物故会員への黙禱
3. 支部長挨拶 末宗成二支部長(昭28)
4. 長薬同窓会本部より大学近況報告  
富永副会長(昭44)
5. 役員改選
6. 新支部長挨拶
7. 閉会の辞 石飛副支部長(昭35)



懇親会 (進行 大川内会員(昭59))

1. 乾杯 松本康裕先生(昭24)
  2. 会員近況報告
  3. 余興 一発芸・カラオケ
  4. 校歌斉唱 藤武会員(昭50)
  5. 写真撮影 久保会員(昭56)
  6. 閉会 女性会員
- 2次会 クラブ「倉」

長薬同窓会北九州支部役員

支部長 芥野 岑男(昭46)  
副支部長 中原 照子(昭49)  
増田 和久(昭50)  
幹事 池田千加子(昭55)  
久保 正樹(昭56)  
大川内英夫(昭59)  
岸川 春樹(平4)  
大石 貴裕(平7)  
福島 将友(平14)

以上の通り全員賛成にて決定いたしました。

増田先生を始め多くの先生方には、一方ならぬお世話になりました事を心よりお礼を申し上げます。先代の梶原敬史先生が亡くなられ、つまらん私事を盛り上げて頂き本当にありがとうございました。6年間皆さんに甘えてきた事を恥かしく存じます。この間2回の支部総会と1回の長薬同窓会定期総会を開かせていただきました。

皆さん方にはお礼の申しようもありません。随分今は長崎も変わっております。是非皆さんお元気で活躍をお祈り致します。





平成20年10月18日 於 小倉ステーションホテル

## 福岡支部浦陵会

会長 青木 郁 (昭38)

残暑厳しい中、福岡浦陵会総会並びに研修会を平成20年9月7日(日)14:00～16:30で開催、16:30より懇親会を致しました。今回もお忙しい中、伊豫屋会長にご出席いただき、総会・研修会は37名、懇親会40名の参加で無事終了することが出来ました。福岡浦陵会は長崎支部、関東支部と並ぶ会員数422名の大きな支部ですが、今回も平成の卒業生の参加が少なく残念でした。

昨年の関東支部の会報で、前会長の富安先生の退任のご挨拶に「長崎大学という母校があって仕事出来る自分があると考えれば必ずしも同門会は無意味ではなく、むしろ利害関係の無い方同士が、先輩、後輩という年代と経験を生かした中で自由に、そして安心して話し合える場ではないか」と記してありました。まさにその通りと考えます。福岡浦陵会は、退職後の同窓生、現役の同窓生、先輩、後輩が一同に会し安心して話し合える会にしたいと平成19年度から二部構成とし、現役の同窓生中心の場を研修会という形で、先輩、後輩の交流の場を懇親会という形で準備しています。昨

年の研修会は医療の方向が「在宅での医療」に向いていることを鑑み、「薬剤師も町へ出ていこう！」をテーマにしました。医療の場でも、薬学の教育の場でも、職域の拡大などの、大きな変化を、直視しなければなりません。そこで、今回は「21世紀の薬剤師像をアップしよう！」の大テーマを掲げ、色々な分野で活躍されている同門の薬剤師のお話を聞き、現状認識、問題点等を共有し、考える場を提供できればと考え企画しました。今後は、このテーマの下に色々な分野で活躍されている同門の方々のお話を聞いていく考えです。

今回は、夏木副会長(院昭43)の司会の下、産業医科大学病院薬剤部長 高橋浩二郎氏(院昭52)に「病院薬剤師の現状と今後の展開について～産業医大病院の場合～」の演題で薬剤部長に就任されて以来、チーム医療の中で、如何に薬剤部の存在意義を認めさせるかの苦労話、現在の問題点と解決方法並びに今後の取り組みについて話していただきました。千鳥橋病院の緒方信明氏(昭50)は「社会保障をどうみるか？ 薬剤師の対応～マクロの視点から～ —このまま進めば医療制度崩壊につながる医療制度改革—」の演題で薬剤師が余り得意でない社会保障制度全体を考え、その中で薬剤師はどの様に対応すべきかについて話していただきました。特に、「Think Globally Act

Locally の捉え方で薬剤師の顔が見える活動と情報発信をしてほしい」と強調されました。非常に大切なことだと感じました。古賀薬局東病院前店 管理薬剤師 満行秀史氏（昭60）は「薬局薬剤師の現状と未来」の演題で調剤薬局薬剤師が抱える薬剤服用歴管理指導料の問題並びに処方箋様式の変更と後発医薬品に関する問題、更に在宅医療への積極的参画について話していただきました。後発医薬品に関する問題、4年制薬剤師、6年制薬剤師との対応等は今後大きな問題として取り組む必要があります。済生会福岡総合病院 薬剤師 西村佳子氏（平10）は「病院薬剤師が求められる業務とスキルについて」の演題で21世紀以前の薬剤師、特に薬学部在学時の教育と平成8年以降の薬剤師を取り巻く医療現場の変化、平成20年現在の救急病院での薬剤師の職務並びに今後ますます重要となるチーム医療の中での専門薬剤師、新しく卒業してくる薬剤師への対応と教育について話していただきました。現場での体験を基にしたお話は大変印象深いものでした。

デスカッションの時間では、演者間での意見交換はもとより、ご自身が身内の看護の中で薬剤師

の必要性を身をもって感じた同門生の意見など大変参考になりました。初めての試みでしたが、各演者の方々の話も分かりやすく、本当に現場で重要なお仕事をされていることが理解できました。現場を退いた会員の方々、現役の方々に共に刺激を受けられた様子でした。

今回の総会開催についても、辻先輩（昭33）、内堀先輩（昭33）には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。昭和50年卒の緒方さん、60年卒の満行さん、清澤さん、末松さんに企画員として活躍していただきました。この場で報告し、ご協力に感謝します。来年度の企画員は昭和41年、51年、61年、平8年、平18年の卒業の方をお願いしたいと考えています。よろしくご協力お願いいたします。

最後にお問い合わせがごございます。今回も平成の卒業生の参加が大変少ないです。どうぞ同じ職場に後輩がいたら、誘っていただきたいと思います。互いに声掛け合い、福岡浦陵会を良き同門の場として育てましょうよ。くれぐれもお身体をご自愛いただき、益々のご活躍をお祈り申し上げ、ご報告、ご挨拶といたします。



## 長崎県北支部

### 支部長就任挨拶

支部長 今上 亨（昭25）

前任の大隈先生（昭23）が急に亡くなられました事に対し、深くお悔やみ申し上げます。

平成20年7月26日の長薬同窓会県北支部総会におきまして支部長に選任されましたことは誠に光栄とするところでございます。お引受けした以上は精一杯、務めてゆく覚悟でございます。どうか会員の皆様のご協力のほどお願い申し上げます。

同窓会のやることは何だろうと考えましたが、結局のところ、会員相互の親睦を深めるために現況を確認し名簿を作成する事に尽きると思います。どのような会にしても、会のお世話をする人には

大変な苦勞がつきものです。それはやってみた人でなければ解りません。それにもかかわらず幹事役の総合病院薬剤部長の相川先生（昭48）にはこれまで大変にご苦勞をかけた事に対し、深く感謝申し上げますと共に今後もこれまで同様をお願いしたいと思ひます。

今回お引受けした条件として一期のみと致しましたことは、会を重ねるごとに改選し、少しずつ若返りを計りたいと考えた為であります。

私は昭和42年から平成元年までの22年間、県病院薬剤師会の理事として働いておりましたが、佐世保地区長（兼市薬副会長）となつてから、薬剤師は生涯学習が是非必要であると考え、月2回位の勉強会を立ち上げ、東七さんの小会議室をお借りして行つておりました。ちょうどその頃、当時県病薬会長（県薬副会長）で、今は亡き市川先生（昭33）の目にとまり、これは「県薬の事業に発展させましょう」ということになり現在まで続いているわけです。

## 支部総会報告

幹事 相川 康博（昭48）

実は昨年秋半ば頃、支部長であつた大隈直之先生（昭23）から同窓会開催の要請を受けたのですが、その頃は、まだ私が病み上がりで体力に自信がなく、年明けに開かせていただきたいとお断りしました。後悔先に立たずというものの、今思うと、その時に無理してでもやっておけばよかつたと後悔しています。今年4月6日、突然の支部長ご逝去の報に接する事になりました。心からご冥福をお祈りします。

今年、平成20年7月26日(土)に、2年ぶりの支部同窓会を佐世保玉屋前の「東風」で開くことができました。なお、今回は、職場の後輩の手助けをお願いしました。

伊豫屋長薬同窓会長（昭41）をお迎えし、総勢28人の会となりました。まず最初に、物故者のご冥福を祈り全員で黙禱を行い、次に伊豫屋会長からご挨拶と同窓会の近況を報告していただきました。続いて支部長の選任に入り、昭和25年卒の今

今まで、長薬県北支部同窓会は年一回の総会以外にはほとんど何もやっておりました。この地区の総数は118名ですから出席者は23.7%と、大変少ないわけですから、今後は各卒業年次クラス会の方々のご意見ご希望をお聞かせいただき、もっと出席率を高める様なことを考えていきたいと思つております。どうぞ全会員皆様のご協力のほどお願い致します。

私がちょうどこの挨拶文を書いている時10月8日突然私と佐世保中学で一時期同年であつた、下村 脩教授（昭26）のノーベル化学賞の受賞が決まり、世界的大ニュースに驚きまた喜んでいる所です。

生物発光という一つの事に熱中して追求していくという事はすばらしいことだとなつづく感じさせられました。当日新聞社やテレビ局から引切り無しに電話がかかり、何かエピソードはないかと尋ねられましたが、同じ長崎の薬学部出身者として大変誇りに思ふものであります。

上 亨先生に引き受けていただく事になりました。これで、故大隈前支部長も安堵された事と思ひます。

今上新支部長から就任の挨拶と乾杯の音頭を發していただいて懇親の宴に移り、特別会員の大庭義史氏に続き、卒業年の古い順に自己紹介と近況報告をしていただきましたが、長崎国際大学に薬学部ができてから3年になり、教職に携わる同窓生が7名となりました。

名残は尽きないものの、伊豫屋会長の日程の都合もあり9時のJRの時刻にあわせ、集合写真撮影と来年6月頃の支部同窓会開催を決めた後、支部長の万歳三唱で散会しました。

〈出席者〉

大庭 義史（特）	塚本 實（昭24）
今上 亨（昭25）	松田 雄光（昭25）
貞方 典（昭26）	末武 和子（昭29）
今泉貴世志（昭31）	林田 匡代（昭36）
副島 敬子（昭39）	松本 功治（昭41）
島田志津枝（昭45）	田代佐夫子（院昭48）
相川 康博（昭48）	宮田 節子（昭48）

榊原 隆三 (院昭50) 小笠原正良 (院昭51)  
荻野 清子 (昭62) 松本 直樹 (院平1)  
松本 玲子 (平1) 井手 指月 (平2)  
川尻 宏輔 (平10) 萩森 政頼 (平13)

田代 泰理 (平15) 一瀬 沙織 (平16)  
大神 正次 (平16) 小野原侑子 (平16)  
森 善洋 (平18)



平成20年7月26日 於 東風

## 島原支部

支部長 宮崎 圭介 (昭31)

支部総会を兼ねて9月28日(日)に歴史探訪の会を行いました。長崎県では「長崎の教会群とキリスト教遺産」を世界遺産に登録しようと運動が行わ

れておりますが、私たちの住む島原半島にも数箇所の候補地があります。

今回は、まず島原の乱の舞台となった原城跡を訪ねました。偶然にも現場で地元の郷土史研究家と出会い、「本丸跡の地下30メートルに祈りの部屋があり、海岸側からの通路を探して写真を撮ることができた」と、初めて聞く話などで収穫の多いスタートを切ることができました。

原城文化センターでは、十字架やロザリオなど発掘出土品の数々を拝見して島原の乱の壮絶さを学習することができましたし、長崎平和記念像を製作された彫刻家の北村西望先生の生家では、展示されている彫塑を始め書画などを鑑賞しましたが、100歳の時の作とは思えぬ迫力のある書から参加者全員が元気を頂きました。

伊豫屋長葉同窓会長には遠路をマイカーで駆けつけていただき、海辺の温泉センター「真砂」で会食をしながら同窓会の現状等をお話下さいました。支部会員33名中9名の出席は寂しい感はある

ましたが、変わらぬお元気な姿の昭和22年卒の田島先生をはじめ各人が近況報告など楽しい話が続き、時間が経つのも忘れる親睦の会でした。

〈出席者〉（敬称略）

田島 輝彦（昭22）	宮崎タツ子（昭30）
酒井 裕子（昭30）	宮崎 圭介（昭31）
早崎 忠信（昭37）	織田美智子（昭41）
藤田 立明（昭44）	小林 茂（昭45）
小林 和子（昭45）	



2008年9月28日 於 原城跡

## 熊本支部

山本喜一郎（院昭55）

平成20年度の熊本支部例会・懇親会は、9月の第一土曜日の9月6日(土)に熊本和数奇司館の2階の食事処「五輪」で開催しました。

会は、8年振りに参加いただいた一番ヶ瀬先生の乾杯のご発声で始まりまして。先生は昭和24年から昭和36年まで薬学部いらっしやったそうですが、「今回の参加者には見知った顔が居ないなあ」とちょっと残念がられていらっしやいました。しかし、「また来年もできるだけ参加するよ」

との有難いお言葉をいただきました。

同窓会からは、会計幹事で長葉同窓会のホームページの管理もなさっている伊藤先生をお迎えしました。持参のパソコンで長葉同窓会ホームページのご紹介、デモンストレーションをしていただきました。中でも、我々がかつて慣れ親しんだ「集会所」撤去のご報告と、その解体の様子を動画で見せていただきました。会場からは、懐かしい集会所の様子に「おおっ」という歓声や、解体の様子に「ああっ」という残念がる声があがりました。伊藤先生、ありがとうございました。

恒例の近況報告です。一番ヶ瀬先生は御歳92歳とのことでしたが、とてもお元気でした。先生、来年もまたお待ち申し上げます。

近況報告の中での話題としては、山本さん（平15）が病院勤務から調剤薬局勤務へ移られたとのことでしたが、なんとその薬局が古川くん（昭54）と同じ系列の薬局とのこと、話が弾んでいました。また、熊本支部事務局の松尾くん（昭59）が、化血研からヘッドハンティングされて、統計関係の会社へ転職しました。東京の会社ですが、オフィス熊本に構えてネットで繋いだパソコンを通じたテレビ会議等を通じて熊本に居ながら東京のオフィスに居るのと殆ど同じ環境が構築されているとのことでした。IT技術の進歩を感じました。実は、今年の会場は、松尾くんのオフィスがあるホテル内のレストランです。また、例会ご常連の江川先生（昭48）がこの春から奄美大島の国立療養所の副園長として赴任されました。2年前の海外学会での土産話を聞くことができず、残念でした。しかし、ご自宅はまだ熊本にあるとのことですので、機会があったら是非伺いたいと思います。

矢田さん（昭60）、兒島さん（院昭62）、久松さん（昭60）は昨年に引き続き参加いただき、ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

超ご常連の岩下さん（昭52）、平野さん（昭52）の仲良しコンビは、例会を年中行事に組み込んで、年1回皆さんと会えるのを楽しみにしているとの有難いお言葉をいただきました。同じく秦野さん

（昭56）は、人脈の広さで、話題に事欠きませんでした。子育て、お互いがんばりましょう。上仲さん（平6）は子育て等々で大変な中、今年も参加していただきました。

近況報告が終わると、雑談タイムです。皆さん1年ぶりの再会で話に花が咲いていました。調剤薬局での保健請求等のやり方について、古川くんと木山さん（昭59）とで話が弾んでいましたが、企業勤めの私には傍で聞いていても何が何やらさっぱり分かりませんでした。私事になりますが、私もそろそろ定年を間近に控え、将来は薬局勤務をと考えていますので、例会で皆さんの話を伺って勉強していきたいと思いました。古川くんからは、「喜一郎さん、薬局勤めを考えているのなら、早い方が良いですよ」とアドバイスを貰いました。

2次会は、同じホテルの1階にある「もつ笑」へと河岸を移しました。参加者は、伊藤先生、木山御夫妻、久松さん、矢田さん、古川くん、松尾くん、山本の8名でした。伊藤先生、木山さん、松尾くんは同期で、矢田さん、久松さんはその一期後輩ということで、学生時代の話が大いに盛り上がりました。

参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。来年もまた、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。来年はサプライズを考えていますので、お楽しみに。



平成20年9月6日 於 熊本和数奇司館「五輪」  
後列左より、木山、上仲、矢田、秦野、古川、山本、兒島、久松、松尾  
前列左より、山本、木山、伊藤先生、一番ヶ瀬先生、岩下、平野

長薬同窓会の皆様、熊本支部の例会は毎年9月の第一土曜日に開催していますので、皆さん是非ご参加下さい。また、他支部の方で、当日熊本にいらっしやった方も大歓迎ですので、山本までご連絡下さい。

参加者 15名（敬称略）

一番ヶ瀬尚（特別） 伊藤 潔（昭59）

岩下 淑子（昭52） 平野 玲子（昭52）  
古川 真一（昭54） 山本喜一郎（院昭55）  
秦野 正敏（昭56） 木山 容子（昭57）  
木山 雄一（昭59） 松尾富士男（昭59）  
矢田 道代（昭60） 久松 貞義（昭60）  
兒島 正樹（院昭62） 上仲 小玲（平6）  
山本 友紀（平15）

## 宮崎支部日向浦陵会

会長 田中 重雄（昭45）

南国宮崎もやっと秋らしくなった11月8日(土)宮崎市橋通西3丁目のエアラインホテルにて、同窓会を開催しました。5年ぶりの開催でしたが、平山さん（昭61）の熱情あふれる案内勧誘で、30名の参加となり、会場は満席となりました。

今回は、とにかく同窓会名簿を眺めるだけでなく、「行ってみて直接会って語り合おう」を合い言葉に集まることにしました。話題はやはりなんと云っても、下村先生のノーベル化学賞受賞の話題。宮崎支部には薬学専門部出身の先輩が3名おられますが、最近、背筋がピンとなったような気がします。竹井さん（昭53）の司会で開会し、物故者康田氏（昭14）への黙禱で始まりました。

会の要旨は次のとおりです。

### (1) 支部長挨拶

貴重な下村先生の手記「発光生物研究40年」（長薬同窓会報第35号1995年12月発行）を紹介した。

### (2) 旗開き

下村先生のノーベル賞受賞記念に、また宮崎支部日向浦陵会を象徴するものとして、同窓会旗を作製したのでお披露目した。

### (3) 自己紹介

・杉岡先輩（昭18）

「私は下村先生の8年先輩です。」

・甲斐先輩（昭23）

「私は下村先生の3年先輩です。」

・酒匂先輩（昭24）

「私は下村先生の2年先輩です。とにかくよろしく。」

・岩切先輩（昭36）

「私は下村先生が助手をしていた頃、指導を受けました。」

「下村先生は背の高い人でそのころから飄々としていたことが今も記憶にあります。」

一方、大学、病院、調剤薬局、企業（旭化成）、薬事行政、流通（医薬品販売、医薬品卸）等々いろいろな分野で活躍している小村さん（平16）等の後輩諸氏の実務の体験談が語られ会員同志の交流が深まった。

### (4) 長崎大学 Goods 紹介

長崎大学のロゴのはいった商品（カステラ、シャツ、タオル、文具、ボールペン等）を紹介しながら、問題を出し、正解者はGoodsを獲得。

### (5) 校歌合唱

小坂さん（昭44）指導、甲斐先輩（昭23）指揮、全員で合唱

### (6) 閉会の辞

甲斐先輩（昭23）の万歳三唱にて午後9時に閉会3時間があっという間に過ぎ去った。

最近、同窓会の参加者が減少していく傾向にあると聞いていますが、支部長としても頭を悩ますところです。

支部の同窓会というと先輩、後輩お互い知らない人が多いので、話をすることもなく面白くないので1回行って、もう二度と行かない人が多いのではないのでしょうか。

考えてみると同窓会というのはそれが欠点かも

しれません。しかし、長所という見方をするとどうでしょう。長薬同窓会という場で、全く初対面の人でも話してみると、同窓会というだけですぐうちとけて、親しくなり人的交流、情報交換がはかれるという最大の長所があります。そのような長所をみんなで大きくしていくと、短所は段々小さくなり、長所が短所を包み込み、みんなが同窓会は今度はいつするのと催促するようになると思います。

育児や家事また出張等で参加できなかった人も、次回は是非参加され直接会って語り合いましょう。

最後に、珍しい同窓会関係資料等を送っていただいた長薬同窓会事務局の方に心からお礼申し上げます。

平成20年度長薬同窓会宮崎支部日向浦陵会の出席者

杉岡 和雄 (昭18)	甲斐 勲 (昭23)
酒匂 保 (昭24)	岩切 桂子 (昭36)
小坂 妙子 (昭44)	田中 重雄 (昭45)
林 佳代子 (昭50)	松野 康二 (昭52)
児玉 裕文 (院昭52)	竹井 正行 (昭53)
肥田木省三 (昭54)	上橋 昭子 (昭55)
矢野さおり (昭55)	那須 洋子 (昭55)
山元 裕子 (昭56)	黒木 明子 (昭57)
肱黒 恒志 (昭60)	佐藤 多恵 (昭61)
森川麻理子 (昭61)	平山 倫代 (昭61)
肱黒みどり (昭62)	杉田 昌子 (平 6)
柏木さつき (平 7)	榊田 希 (平 7)
井上 寛規 (平 8)	山田佳代子 (平 9)
中野 博文 (平10)	日高 寛通 (平10)
越智 朋子 (平14)	小村 大輔 (平16)



平成20年11月8日 於 エアラインホテル

## 鹿児島支部

支部長 森 昭雄 (昭28)

今年は10月26日(日)天文館近くのホテルパレスイン鹿児島で支部会を開催しました。今回は私の病

気のため2年ほど休みましたので3年目の支部会になり、楽しみにして下さる先生方にご迷惑をおかけしました。

出席予定者は9名のところ、平原裕久先生(昭51)が急病のため富士子先生(昭52)も看病の為欠席されましたので7名となりました。先生のご回復をお祈りします。



先ず桶谷先生の音頭で下村 脩先生のノーベル化学賞の受賞を祝して乾杯の後、それぞれの近況報告がありました。

桶谷先生は、89歳の今日まで生涯現役で頑張れる朝夕30分のその場跳び運動健康法を披露して下さいました。先生の元気な姿勢に一同納得しました。新平先生からは、新支部長として元気な先生を推薦して下さいて来年度よりお願いすることになりました。私も高齢者で後期になりましたので

引継ぎを楽しみにしています。11月18日は昭和28年卒のクラス会が宝塚であります。最後の集いになるかもしれぬと言うことで私も出席します。

出席者は下記のとおりです。

桶谷 巖 (昭16.12) 森 昭雄 (昭28)  
池田 修一 (昭37) 川島葉留美 (昭39)  
新平孝一郎 (院昭47) 肥後 啓子 (昭48)  
福永 浩一 (昭53)



平成20年10月26日 於 ホテルパレスイン鹿児島

## 長崎支部ぐびろ会

会長 山中 國暉 (昭43)

6月7日(土)午後4時から市内宝町のベストウェスタンプレミアムホテル長崎(旧プリンスホテル)にて平成20年度ぐびろ会総会が開催されました。

ぐびろ会総会の司会は岩永真理氏(平6)で議長に宮本眞秀氏(昭41)を選出し議事に移行しました。

また、今年はぐびろ会が当番として長薬同窓会定期総会のお世話をすることになり、ぐびろ会総会終了後、長薬同窓会定期総会・懇親会が開催されました。

### 議事

- (1) 平成19年度事業報告
  - ・定期総会開催  
…平成19年9月1日 長崎厚生年金会館
  - ・長崎大学薬学部の長薬同窓生が教授の研究室に研究費を寄贈  
…中島憲一郎教授及び中嶋幹郎教授の研究室
- (2) 平成19年度決算・監査報告  
会計 濱田哲也(昭54)  
監査 田原 務(昭51)
- (3) 会長改選  
現執行部で続投  
役員名別紙参照
- (4) 平成20年度事業計画
  - ・定期総会開催 平成20年6月7日(土)
  - ・長崎大学薬学部の長薬同窓生が教授の研究室に研究費を寄贈

今年度は中島憲一郎教授及び中嶋幹郎教授の研究室

- (5) 平成20年度予算について  
紙面の都合により省略
- (6) その他

以上について報告と質疑がありました。

質疑の中で長崎大学薬学部の長薬同窓生が教授の研究室に研究費の寄贈について長崎支部ぐびろ会だけが計画実行するのではなくて、すべての支部にお願いしたらどうかという提案がありました。後に役員会で審議しましたが、現状継続の賛成意見が多く、長崎支部ぐびろ会での寄贈を継続することに決めました。

また、総会の出席者が少ないことも心配です。どこに原因があるのか、十分に検討する必要があります。新しい形式での総会を考え、行おうと現在準備中です。

平成20年度長薬同窓会長崎支部ぐびろ会役員

- 顧問 高木 康 (昭35)
- 顧問 伊豫屋偉夫 (昭41)
- 会長 山中 國暉 (昭43)
- 副会長 猪平 民雄 (昭47)
- 副会長 中嶋 幹郎 (昭57)
- 理事 馬場 満輝 (昭49)
- 監事 田原 務 (昭51)
- 理事 濱崎 和久 (昭54)
- 理事 濱田 哲也 (昭54)
- 理事 和泉 玲子 (昭56)
- 理事 神山 朝光 (昭63)
- 理事 井石 政之 (平4)
- 理事 森本 仁 (平5)
- 理事 岩永 真理 (平6)
- 理事 石井 純 (平7)
- 理事 最上 元 (平11)
- 理事 水野 和美 (平11)
- 理事 坂田 真人 (平15)
- 理事 細井 雄仁 (平19)

# クラス会および近況だより

## 河野 功先生教授昇任15周年お祝い会と日本生薬学会の開催

田中 隆 (特)

平成19年12月1日に、天然物化学研究室、河野功教授の教授昇任15周年と、1年遅れとなつてしまいましたが還暦のお祝い会を盛大に開催いたしました。長崎近郊にお住まいの生薬学・天然物化学研究室、薬用植物園の卒業生と在生に加え、河野先生の最初の博士課程学生であり、生薬学研究室助手を経てハーバード大学に留学、その後香港浸會大学中医薬学院教授としてご活躍中の姜志宏先生(博平6入)もお忙しい中、急遽来日されて会に加わってくださいました。

河野先生は昭和54年(1979年)に長崎大学に助手として赴任され、教室発足当時の高取治輔教授(大14)、その後を継がれた河野信助教授(昭17)に続いて3代目の教授に平成4年(1992年)に就任されています。

久々になつかしい顔ぶれも集まり、皆さん学生の頃とほとんど変わらない様子で、「最近の若い連中は……」といった愚痴も交えながら話題は尽き



河野先生(中央)、姜志宏先生(手前)と卒業生(H19.12.1)

ず、短いながらもとても楽しいひと時となりました。還暦のお祝いの品として、学生が選んだ琉球ガラスの大きな花瓶が贈られました。



また、平成20年9月19日～20日の2日間、日本生薬学会第55回年会在が、河野 功先生を大会実行委員長として、長崎大学文教キャンパス内の5つ

の会場で開催されました。これまでの東京や名古屋での開催に比べて長崎の地理的不便さを危惧しましたが、結局、参加者、演題数ともに過去最多